



男女共同参画啓発シリーズ Vol.240

「イクメン」から「共育(トモイク)」へ

厚生労働省が平成22年度から男性の育児参加や育児休業の促進を目的に推進してきた「イクメンプロジェクト」は一定の成果を上げてきました。

しかし、未だに男女間の差に関する課題が残っています。このため後継事業として、令和7年度から「共育(トモイク)プロジェクト」が始まり、企業が共育しやすい環境づくりに向けた普及啓発等が進められています。



日韓派遣研修生の
まちレポお届けします!

八頭町の国際交流姉妹都市である大韓民国・江原特別自治道横城郡から、4月より行政派遣研修生をお迎えしました。

町での研修を通して、行政や文化への理解を深めていただくとともに、両地域をつなぐ架け橋としての活躍が期待されます。

氏名 金 榮珍 (キム ヨンジン)
生年月日 1978年10月26日
出身 大韓民国 江原特別自治道 横城郡

キム ヨンジンさんからのメッセージ



みなさん、こんにちは。韓国・江原特別自治道横城郡から来ました、キム・ヨンジンです。

私は、大学で獣医学を学び、横城郡では畜産分野の業務に携わり、地域の畜産業の発展や家畜防疫に取り組んできました。横城郡は韓牛で知られていますが、近年は飼育頭数が減少しています。そこで、評価の高い和牛について学びたいと考え、今回の研修を希望しました。

2027年に北海道で開催される「第13回全国和牛能力共進会」には、横城郡の畜産農家や関係者とともに参加する計画があります。そのため、日本の畜産現場を訪ねながら知識を深め、日本語も上達したいです。

仕事以外では、卓球やボウリング、マラソン、ゴルフなど、スポーツを通じた交流が大好きです。八頭町でもさまざまな活動に参加し、みなさんとの交流を楽しみにしています。

10月に森下広一マラソン大会が開催されると聞いており、横城郡のランニング仲間も参加できれば、より交流が深まるのではないかと今から楽しみにしています。

八頭町での研修は以前から強く希望しており、日本に来られてとても嬉しいです。1年間、行政や文化を学びながら、交流を通して両地域の友好と発展に貢献できるようがんばります。

よろしくお願いします!